



ANTI NOMIA DEL REALISMO

中村恭子日本画作品展

2021.

3.3-13th

観覧無料
9:30-17:00 月曜休館

[会場] 新潟市美術館市民ギャラリー

本展覧会・シンポジウムは感染症等の状況によって中止・延期または内容を変更する場合がございます。詳細は右記までお問い合わせ下さい。

書き割りの身を
無限小の幸福
ひすは

アンチノミーの
写実性

[お問い合わせ先]
中村恭子 : kyoko608@gmail.com
KYOKONAKAMURA.JP

[主催]
新潟大学／日本学術振興会 課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業 JPJS00120351748／科研費挑戦的研究(萌芽)18K18478

JSPS 科研費 新潟大学

日本画の山の表現には、半円

の連なりを成すものがあります。

遠近法を基にした現代的な写実

性から見れば、幼稚な表現とも

れます。しかしこの山を、舞台背景

装置の張りぼての、書き割り平面とし

て捉えてみると——、抽象的でありながら

現実の風景を成す一枚の板の山の連なりは、裏

側、つまり向こう側が無いことを示しています。書き割りの

写実は、視界における遠・近を問題にしません。日本画の山の

向こう側は、向こう側ではありません。山の背後に、全くの外

部を控えているのです。山越に阿弥陀が立つ。花喰鳥がやつ

てくる。それは現代人が忘れかけた、魔法のような、古来からの、

リアリティ

なのです。

書き割りの 山の向こうは外部



[作家経歴]

中村恭子
NAKAMURA, Kyoko

日本画家。

長野県下諏訪町生まれ。
2005. 東京藝術大学日本画専攻卒業、2010. 同大学院博士課程日本画研究領域修了、博士（美術）取得。
現在、新潟大学特任助教、東京外国语大学アジア・アフリカ言語文化研究所フェロー、早稲田大学総合研究所招聘研究員。
著書に『TANKURI—創造性を擊つー』（共著、水声社、2018.）など。

作家ウェブサイト：
KYOKONAKAMURA.JP



[上] 中村恭子筆《花喰鳥を待つ》

一幅、絹本着色、153×50 cm、2018年

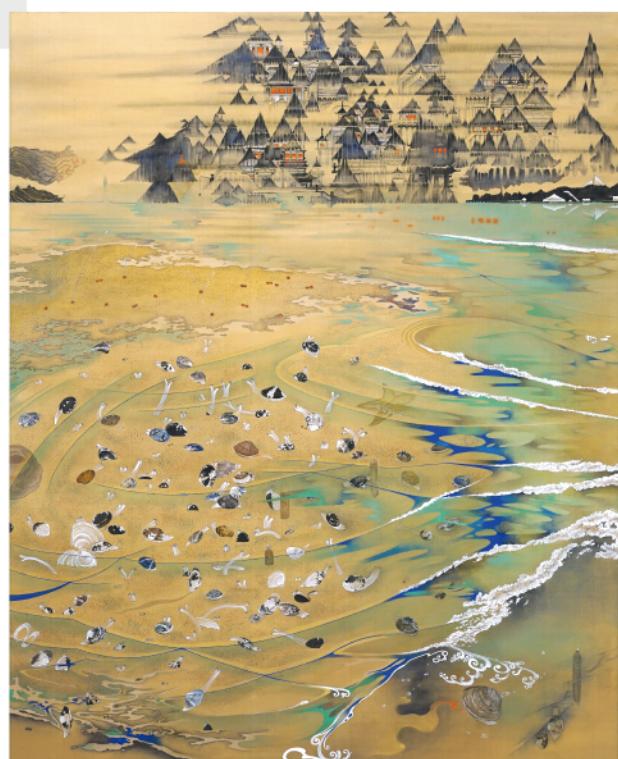
[中] 中村恭子筆《皿鉢絵巻》より部分

一巻、絹本着色 34×1423 cm, 2015-16年

[下] 中村恭子筆《風景を漁る者—現実よりも懐かしい—》

一幅、絹本着色、109×88.5 cm、2017年

このほか新作を含め中村の代表作をご覧頂けます。



◆ 感染症対策のため、定員を先着順50名様までとさせていただきます。
ご来場の際は美術館が定める感染症対策にご協力ををお願いいたします。
感染症等の状況によって中止・延期または内容を変更する場合がございます。
詳細は、中村恭子・kyoko608@gmail.comまでお問い合わせ下さい。

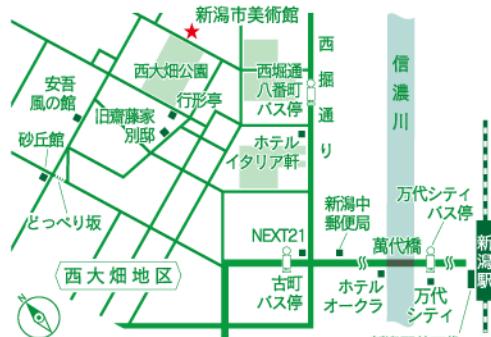
脱創造は、人間が自分の外部を呼び寄せる、最も鮮烈な行為である。自分の内

部表現だけだというなら、それは人工知能の得意技だ。外部を呼び寄せる技法

は、藝術にとどまらず、人間の尊厳を復権させる手段ですらあるだろう。その

意味を、異分野の四人が語り尽くす。

◆ 公開シンポジウム「外部を受け入れる美」
郡司ペギオ幸夫×熊倉敬聰×中村恭子×塙谷賢
早稲田大（天然知能研究）
元慶應大（美学）
新潟大（日本画）
新潟大（科学哲学）
早稲田大（科学哲学）



新潟市美術館周辺地図

◆ 県外から新潟駅までのアクセス◆
東京駅→新潟駅までJR上越新幹線約2時間 / 大阪伊丹空港→新潟空港まで飛行機約1時間15分
※新潟空港から新潟駅まではバス「空港リムジン」をご利用ください。

◆ 新潟市内バスをご利用の場合◆
新潟駅前万代口バスターミナルから「C6 八千代橋線」乗車約16分→「西堀通八番町」下車徒歩約5分 / 「B1 萬代橋ライン(BRT)」乗車約10分→「古町」下車徒歩約12分 / そのほか観光循環バスなど。

◆ お車・タクシーをご利用の場合◆
新潟駅万代口から約10分。
※美術館駐車場は普通車用です。

〒951-8556新潟市中央区西大畠町 5191-9
新潟市美術館

TEL 025-223-1622/FAX 025-228-3051

2021.
3.6th [会場]
新潟市美術館講堂
10:00-11:40